

# アジア、ヨーロッパなどで参加体験型の実践教育は着実に広がっています

## 基本活動は店頭での安全アドバイスと交通教育センターでの実技教育

1972年にスタートした海外での安全運転普及活動は、現在、33か国に広がっています。

海外でも活動の主流は、販売店店頭でお客様に安全アドバイスを行う「手渡しの安全」と、参加体験型の実践教育を交通教育センターで行うことです。さらに政府や自治体と連携して、交通安全に貢献している現地法人もあり、活動は地域に合わせて広がりを見せています。

## 店頭活動をさらに充実させたタイ 東欧に初の交通教育センター誕生

販売店店頭での安全活動は、海外でも積極的に展開しています。タイのA.P.Hondaのように、店頭安全アドバイスや実技指導を継続的に実施できる体制を構築して、活動に取り組んでいるところもあります。同社では、二輪販売店に安全指導ができるスタッフを2人以上置くことを制度化し、危険予測トレーニングができる教育機器「ライディングトレーナー」を使った店頭アドバイスやスクールを行っています。

参加体験型実践教育の場である交通教育センターが、今年3か国で新たに誕生し、専用教育施設を持つ国は18か国になりました。

フィリピンの交通教育センターは、Hondaの3つの現地法人が出資する基金で運営されています。二輪と

四輪の免許取得時教育と免許保有者向け教育の両方に重点を置いて活動し、フィリピンの交通安全教育に貢献していきます。

ハンガリーにオープンした交通教育センターはHondaとして東欧初の施設で、今後Hondaの安全運転のノウハウを伝えていく拠点として重要な役割を担っています。

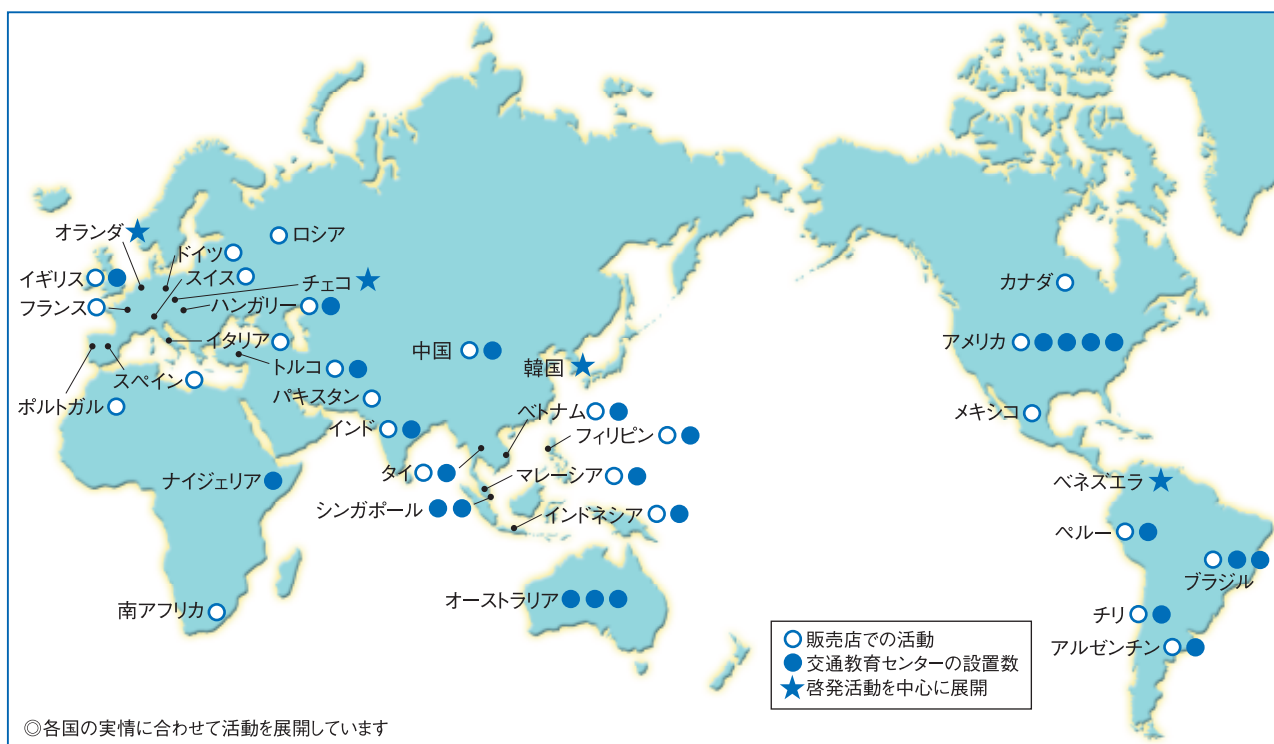
オーストラリアのHonda Australia Motorcycle & Power Equipmentは、3番目の交通教育センターを、オーストラリアで最大の二輪マーケットであるブリスベンにオープンさせました。ここでは免許を持つ個人や企業のライダーを対象に教育を行っています。活動の場は今後さらに増えていく予定です。

## 中国一の交通安全都市づくりを目指す五羊本田

中国の五羊本田は、社会活動として交通安全への取り組みを本格的に開始しました。所在地の広東省増城市で行政、市民と協力し、中国一の交通安全モデル都市づくりを進めています。

その活動の1つとして今年の4月から、小学校2校で、日本で行っている小学生向けの交通安全教育プログラム「あやとりい」の中国版を使った授業がスタートしました。子どもたちは、目を輝かせて交通安全の課題に取り組みました。来年度以降、今年度の実績を踏まえて、他の小学校でも展開していく予定です。

世界33か国で活動を展開（日本を除く）



## タイ



**A.P.Honda**／販売店ではライディングトレーナーを置き、安全アドバイスに活用しています。実技トレーニングコースを持つ販売店もあり、ライダーや子どもを対象にした交通安全教育を行っています。

## フィリピン



**Honda Safety Driving Center**／二輪、四輪の免許取得時教育や企業対象の安全運転講習を行っています。安全運転教育の分野でフィリピン自動車業界のリーダーになることを目指しています。

## ハンガリー



**Honda Hungary**／トルコとシンガポールで指導者養成研修を受けたインストラクターの指導で、ライダーは楽しく安全な二輪車の乗り方を学んでいます。

## オーストラリア



**Honda Australia Motorcycle & Power Equipment**／メルボルン、シドニーに次いで3番目になるブリスベン交通安全教育センターの開所式には、クイーンズランド州政府の交通大臣が出席。Hondaの交通安全に対する一層の貢献が期待されています。

## 中国



**五羊本田**／中国版「あやどいり」の授業は、指導者講習を受けた小学校の先生が担当します。

## 第1回Honda世界安全運転普及活動サミット



第1回Honda世界安全運転普及活動サミット開催（10月、鈴鹿）。安全運転普及活動をグローバルな視点で考え、発展させるために、10カ国から海外法人の社長や安全運転普及活動の責任者など24名が参加して行われました。